

ネオポア Neopor

二酸化塩素の優れた殺菌力と、
高い安全性により、幅広くお使いいただけます。

特長

- ★優れた殺菌効果
- ★広い抗菌スペクトル
- ★高い安全性

ネオポアは、二酸化塩素を用いた消毒薬です。二酸化塩素は細菌、ウイルス、芽胞を含む真菌類など幅広い微生物に対し殺菌力が高いこと、また、耐性が生じにくいなどの特性を持ち、抗菌性物質として高い有用性が認められています。

ネオポアは、ベース(基剤)とアクチベーター(活性剤)の2液で構成されており、2液を一定の割合で混合すると、ベースの主成分である亜塩素酸ナトリウムと、アクチベーターの主成分である有機酸が反応して二酸化塩素が発生し、殺菌効果が発揮されます。二酸化塩素が消費されても亜塩素酸から持続的に二酸化塩素が生成されるので、殺菌効果は持続されます。

消毒面積に応じて必要な薬液量を調整出来るので、無駄なく経済的にお使いいただけます。

使用方法

ベース : 水 : アクチベーター
1 : 4 : 1 の割合で混合します。

- ① 水4に対して、ベース1を混合する
- ② ①にアクチベーター1を混合する
- ③ 混合後、24時間以内にお使いください

消毒は、モップなどによる拭き取り・スプレー噴霧・浸漬等により行ってください。
混合後、24時間以内は二酸化塩素濃度が維持されます。

⚠ 使用上の注意

- ベースとアクチベーターは直接混合しないでください。
- 他の薬品・製品と混ぜて使用しないでください。
- 使用時には必ずガスマスク・保護眼鏡・保護手袋・保護着等の防護具を着用してください。
- 銅・青銅・真鍮への使用はお避けください。

保管および廃棄

- 直射日光・高温を避け、火気のない冷暗所に密閉状態で保管してください。
- 本製品を含む排水および残余廃棄物等は、関係法規・条例や各自治体の指示に従って処理してください。
- 中和法で処理する場合は、多量の水でpHを中性に調整してから処理してください。

試験データ

表1. 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数(/mL)				
		開始時	1分後	5分後	15分後	30分後
枯草菌(芽胞)	試験液*	—	4.9×10 ⁵	40	<10	<10
	対照	7.1×10 ⁵	—	—	—	5.2×10 ⁵
大腸菌	試験液*	—	<100	<100	<100	<100
	対照	5.6×10 ⁵	—	—	—	7.9×10 ⁵
黄色ブドウ球菌	試験液*	—	<100	<100	<100	<100
	対照	4.2×10 ⁵	—	—	—	3.6×10 ⁵
クロコウジカビ	試験液*	—	<10	<10	<10	<10
	対照	2.8×10 ⁵	—	—	—	4.6×10 ⁵
サッカロミセス	試験液*	—	<10	<10	<10	<10
	対照	5.3×10 ⁵	—	—	—	6.0×10 ⁵

<10および<100: 検出せず

検査機関: 一般財団法人 日本食品分析センター

対照: 精製水(黄色ブドウ球菌は生理食塩水)

保存温度: 室温

*ベース1mLに対して精製水4mLの割合で混合後、アクチベーター1mLの割合で添加したもの

表2. 作用液のウイルス感染価測定結果

試験ウイルス	対 象	logTCID ₅₀ /mL				
		開始時	1分後	5分後	15分後	30分後
ネコカリシウイルス ^{*1}	試験液 ^{*2}	—	<3.5	<3.5	<3.5	<3.5
	対照	6.8	—	—	—	6.3
インフルエンザウイルス	試験液 ^{*2}	—	<3.5	<3.5	<3.5	<3.5
	対照	6.0	—	—	—	5.5

<3.5: 検出せず

検査機関: 一般財団法人 日本食品分析センター

TCID₅₀: median tissue culture infectious dose 50%組織培養感染量

ウイルス液: 培養液を精製水で10倍に希釈

作用温度: 室温

*1ノロウイルスの代替ウイルス

*2ベース1mLに対して精製水4mLの割合で混合後、アクチベーター1mLの割合で添加したもの

応急処置

- 吸引した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動し、休息してください。
- 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分間よく洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、汚染された衣服をすべて脱ぎ、直ちに多量の水で洗い流してください。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かずに、水で口をすすいでください。
- 異常が残る場合、本品を持参の上、医師の診断を受けてください。